

日本図書館協会学校図書館部会 幹事会記録（第40期第8回）

日時：2026年5月30日（土） 午後4時～午後5時

出席：甫仮久美子・中村崇・笠川昭治・佐藤千春・高橋恵美子・富山美欧・
仲 明彦・長谷川優子・堀岡秀清・松本美智子・山本敬子
（委任状による出席）石黒順子

1. 報告・連絡等（急ぎの案件中心に）

1) 文部科学省「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」の報告書(2026.3)の巻末事例集について

○部会幹事会に、会員から、同有識者会議報告書の事例集の「事例1」に問題があるという意見が寄せられた。

○「事例1」のタイトルは「学校全体を学校図書館に～学級図書館設置による子供の読書推進」となっている。新潟大学附属新潟小学校のとりくみ。この「事例1」では、「学級図書館」という言葉が使われているが、いわゆる学級文庫の取り組みである。

○以下の問題点が考えられる。

1 学校図書館の事例がひとつもない

学校現場の事例は1つしかなく、あげるのであれば、学校図書館がきちんと機能している事例を紹介するのが当然と思われるところ、この事例は異なる。「学級図書館」という名称での事例紹介だが、これは、どう読んでも単なる「学級文庫」の事例。学級文庫は、読書の導入や本に親しませる意図で、教室に若干の本を置いておく取り組みで、はるか以前から行われている。これはこれで有効な取り組みだが、学校図書館の事例ではない。学校図書館の関与も書かれていない。その結果、報告書の事例集には、学校図書館の事例は一つも載っていないことになる。

2 報告書全体の視点から外れている

通常、こういった事例集を載せる場合、報告書全体の視点に沿った内容であるのが普通であり、実際に、公共図書館の事例はそうになっている。今回の報告書には、学級文庫を推奨する一文もあるが、報告書全体の趣旨は、現代的な課題を整理し今後に向けての方策を提起するものであり、学級文庫だけを取り上げる一方で、よく機能している学校図書館の事例が全くないのはきわめて不自然で不適切と思われる。

3 きちんと機能している学校図書館の姿を示してほしかった

この事例の学校では、学級文庫のことを「学級図書館」と称して取り組んでいる。子供たちに積極的に関与させるための工夫のようであり、現場の工夫としてはありうるネーミングとは思いますが、文科省が公表する、これからの図書館について提起するような報告書に、これを図書館と称して掲載するのは不適切である。図書館というものは、通常、資料や施設や職員を備えて、利用者が求める資料をきちんと提供する組織のことを指す。学校図書館も、そのような機能を果たすことを、この報告書でも求めている。しかし現実の学校図書館は、まず法律に専門職員の制度そのものがなく、予算も施設も不十分な自治体が多く、そういった不備が、図書館としての機能を阻害していて、図書館として求められる機能を発揮できていないケースも多々ある。そうであればこそ、制度を超えて専門職を置き、予算や施設等の条件も比較的良好で、図書館機能を発揮しているような事例こそ、望ましかった。

○高橋から、理事会で曾木理事に事情を聞いてみる。その上で、文科省への意見提出なども検討する。

2. 今年度(2026年度)学校図書館部会第54回夏季研究集会について

1) 退会申込状況（5/29現在）

36名……内訳 会場21(うち学生0)、web14(うち学生0)、報告集1

2) 会場下見・web配信テストについて

- ・日時：6月14日(日)9:00～12:00(会場予約時間)
- ・会場：京都テルサ中会議室(使用申込済／会場を借用して実施)
- ・webテスト：9:00頃から、仲・山本・佐藤で機器セット等準備開始
10:00～、参加できる関東幹事が接続してテスト開始

3) 開催日当日の附属設備借用について

- ・別紙「附属備品予定表」により仲幹事より提案あり。原案通り決定。
附属設備料金として合計で59400円。

4) 二日目の、講師等の昼食について

- ・7食が必要(研究討議登壇者+高橋、笠川)
- ・発注については仲幹事に一任で依頼。

5) 交流会について

- ・会場：うどんダイニング凧
- ・時間：17:30～19:30で会場予約
- ・料理：6000円／人のコースとする(前回決定を変更)。
- ・申込フォームには「5000円程度」と表示していたので、既に申し込んだ人には個別に連絡する。(担当：甫仮)
これから受け付ける人には申込みフォームを修正して受け付ける。(担当：笠川)

6) 会計関連

- ・報告者の交通費・宿泊費等を確認。

3. 部会報について

○82号

発行予定…2026年7月頃

担当…編集＝富山＋印刷発送＝中村

締切…6/20→7月上旬～中旬頃印刷発送

内容…・部会総会報告(中村)

- ・4/20院内会議報告(甫仮)
- ・前号で実施したAIアンケートの結果報告(山本)
- ・AIアンケートの際、部会報に記事を書いてもらえるかどうか(内容はAIに限らず自由)尋ねたところ、2名から「書いても良い」旨回答があった。→山本から内容や時期等の意向を尋ねる。書いて頂けるなら、82号か83号に原稿をお願いします。
- ・PDF配信についての検討状況報告……検討中ですが、PDF化の可能性が高いので、なるべく部会メーリングリストに登録してほしい旨呼びかけ(佐藤)
- ・JAPAN MARCの利活用について国会図書館選出理事に依頼(高橋)→11月号?

○83号

発行予定…2026年11月頃?

担当…編集＝＋印刷発送＝

締切… /

内容…・41期役員選出の公募公示・お知らせ(中村)

※送付担当は部会理事に30部送付する。国会図書館にも2部送付する。

送付先…100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1 国立国会図書館収集書誌部国内資料課

※JLAの封筒を使うが、発送元（宛先不明の場合の返送先）は別に記載する。

※83号以後に掲載する、集会・研究会・実践その他の報告などの原稿企画案を、各幹事が各地域で情報収集・執筆交渉する

6. 今年度の今後の幹事会予定

第40期第9回 2026年7月5日(日) 13:30～17:00 場所未定(web?)

第40期第10回 2026年?月?日(?) 13:30～17:00 web? (今年は関西開催はなし)

以上